『駅前議会』でHOTな話題を！

議員の知り合いがいなくても、市政がわかる。意見も言える。
参加者間で課題を共有できる。行動できる。
それが、私たちが2005年から続けている『駅前議会』です。
ここでお聞きした皆さまの「声」を市政に反映し、議会改革の提案へとつないでまいりました。これからもHOTな情報をお届けし、皆様との対話の場として充実させてまいります。
お一人でも多くのご参加をお待ちしております！！

第２３回は今年度の新規事業と予算を中心に報告。たくさんのご意見が寄せられました。（4月28日・宝塚ホテルで）

6月議会の議案から争点

1.「資源ゴミ持ち去り禁止」を条例化

本来は市の収入となる資源ゴミ。業者の持ち去り競争が激化する中、わが会派は住民、とりわけ登校中の子どもたちの安全を守る上でも**厳しい規制を求めてきました。**ようやく改正された条例では「持ち去り行為を現認後、注意喚起 2回、禁止命令、違反者の氏名公表を行う」ことに。罰則なしで効果があるのか、注目です。

2. 宝塚すみれ墓苑を市直営に

宝塚市都市整備公社が開発・運営する公営墓地の区画応募が低迷、わずか1年で資金不足のピンチに。**市は公社から 22 億円で墓苑を買い取り**、直営化する方針を決めました。**財源は公営企業債。30年かけて回収する計画ですが・・・。**当初の需要予測に問題は？「負の遺産」と公言する現市長にも責任が？民間のノウハウを生かした手法の検討も必要。

3. 議員報酬を5%自主カット

今年度から議員報酬を約２．８％引き下げ、さらに５％自主カットへ（計７．８％を４月に遡って適用）。市民ウケを狙った引き下げ合戦は終結するのか、続くのか。**地方議会で起きている「現実」**をお伝えします。

4. 市立養護老人ホーム 福寿荘を指定管理に？

職員の不祥事から1年。市は社会福祉法人に施設の運営管理を委ねる方針を決めました。理由は「利用者のサービス向上と経費削減」。経済的に恵まれない高齢者にとって最後のセーフティーネットである**老人ホームへの指定管理者導入は適切か**。「公」の責任をめぐって、議論は迫熱しました。

5. 消防救急無線のデジタル化

消防救急無線機器一式を取得（3億9千万円）。川西市、猪名川町と同時にデジタル化を実施し、共同運営している指令システムに接続します。

6. 市立病院に「救急科」

住民の願いである救急医療の充実。**熱意ある医師らによって積極的な救急患者受け入れが行われ**てきましたが、ついに「救急科」新設へ！ 臨床医の育成はもちろん経営面でも期待が寄せられます。

9月議会から本会議のインターネット中継開始！
★詳しくは駅前議会で